



# Discoveries InSite

---

## InSite サイトコピー手順書

第三版 2019 年 08 月 21 日  
ディスカバリーズ株式会社

## 目次

1. はじめに .....	1
2. 利用要件 .....	2
2.1. PowerShell バージョン .....	2
2.2. インストールコンポーネント.....	2
2.3. アカウント要件.....	2
3. 事前準備 .....	3
4. PowerShell 実行の流れ .....	4
4.1. 処理概要 .....	4
4.2. 主な抽出・展開データ .....	4
5. 制限事項 .....	5
5.1. サイト単位の制限事項 .....	5
5.2. リストおよびドキュメントライブラリ単位の制限事項 .....	5
5.3. アイテム単位の制限事項 .....	6
5.4. サイトのページの制限事項.....	6
6. 実行手順 .....	7
6.1. Windows PowerShell スクリプトの実行ポリシーの変更.....	7
6.2. モジュールインストール.....	8
6.2.1. ファイル準備.....	8
6.2.2. ModuleInstall.ps1 実行.....	8
6.3. サイトデータ抽出 .....	9
6.3.1. ファイル準備.....	9
6.3.2. SiteRetrieve.ps1 実行.....	9
6.4. サイトデータ展開 .....	10
6.4.1. ファイル準備.....	10
6.4.2. SiteDeploy.ps1 実行.....	10
7. Appendix.....	12
7.1. 作業実行ログ .....	12
7.1.1. 実行ログについて .....	12
7.1.2. エラーログについて.....	12
7.1.3. 分類「Warning:」について .....	13
7.2. トラブルシューティング .....	14
7.3. カスタムスクリプトの設定について .....	16
7.3.1. カスタムスクリプト設定の確認手順 .....	16
7.3.2. カスタムスクリプト設定の変更手順 .....	18
補足 .....	19

## 1. はじめに

本手順書では、InSite でデザインされた SharePoint サイト（以降「InSite サイト」と記載）を、PowerShell を利用して、抽出・展開する方法について説明します。

尚、以下につきましてはサポート対象外となりますので、予めご了承ください。

InSite 管理画面より作成したポータル、文書管理サイト以外の SharePoint サイトの抽出・展開
日本語以外の言語がインストールされた PC 端末による実行
InSite 管理画面での、コピーサイト（本手順書にて作成）の操作 ※コピーサイトを操作する場合は、SharePoint 標準機能をご活用ください。

## 2. 利用要件

本作業を実施するにあたり、以下の利用要件を満たしている必要があります。

### 2.1. PowerShell バージョン

PSVersion 5.1 以上

※現在の PowerShell のバージョンを確認する場合は、スタートメニューから、Windows PowerShell を開き、「\$PSVersionTable」を入力し、実行します。

### 2.2. インストールコンポーネント

作業端末には、以下をインストールする必要があります。

- ・ SharePointInSitePowerShellOnline

インストール手順の詳細は、「6.2 モジュールインストール」をご参照ください。

### 2.3. アカウント要件

a) テナントのアプリカタログを利用する場合

#### サイトデータ抽出時

- ・抽出する SharePoint サイトのフルコントロール権限

#### サイトデータ展開時 ※下記 2 点、いずれかの権限

- ・新規サイトに展開する場合は、新しいコミュニケーションサイトを作成可能な権限
- ・既存サイトに展開する場合は、既存サイトに対して、フルコントロール権限

b) サイトコレクション単位のアプリカタログを作成し、利用する場合

#### サイトデータ抽出時

- ・抽出する SharePoint サイトのフルコントロール権限

#### サイトデータ展開時 ※下記 2 点、いずれかの権限

- ・新規サイトに展開する場合は、SharePoint 管理者または Office365 全体管理者サインインアカウント  
および、テナントアプリカタログサイトの所有者(フルコントロール)、ルートサイトの閲覧権限以上
- ・既存サイトに展開する場合は、既存サイトに対して、フルコントロール権限がある SharePoint 管理者または Office365 全体管理者サインインアカウント、ルートサイトの閲覧権限以上

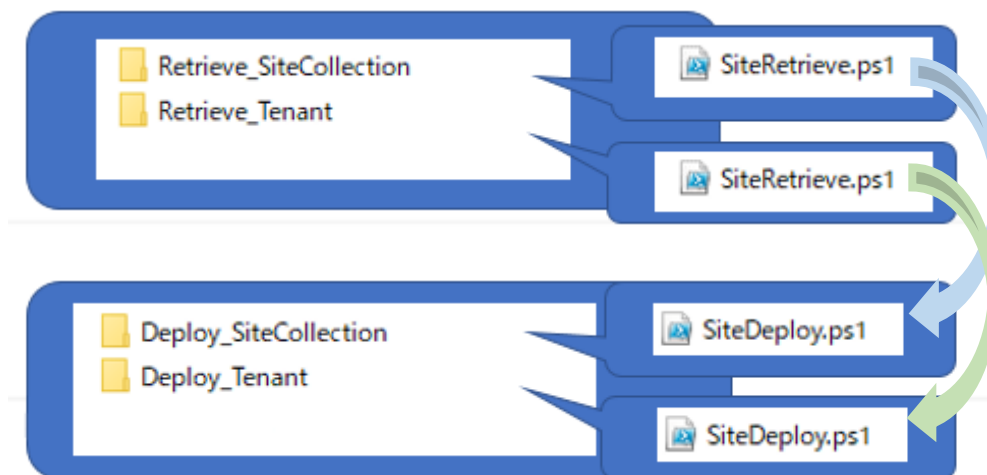
### 3. 事前準備

1. テナントのアプリカタログを事前にご用意ください。  
テナントのアプリカタログ設置手順につきましては、Microsoft 公式サイトをご確認ください。  
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/sharepoint/use-app-catalog>
2. InSite 管理画面より、サイトコピー用 ps1 ファイルを以下から 3 点ダウンロードし、作業端末の任意の半角スペースを含まない場所に解凍します。
  - a) <https://www.insite360.biz/SiteExtensions/DownloadFile?fileName=ModuleInstall.zip>
  - b) <https://www.insite360.biz/SiteExtensions/DownloadFile?fileName=SiteRetrieve.zip>
  - c) <https://www.insite360.biz/SiteExtensions/DownloadFile?fileName=SiteDeploy.zip>

上記には、以下のフォルダとファイルが含まれています

- a) ModuleInstall.ps1.txt、SharePointInSitePowerShellOnline.zip
- b) Retrieve\_SiteCollection、Retrieve\_Tenant
- c) Deploy\_SiteCollection、Deploy\_Tenant

Retrieve\_SiteCollection、Retrieve\_Tenant にはそれぞれ、SiteRetrieve.ps1.txt ファイルが含まれています。  
Deploy\_SiteCollection、Deploy\_Tenant にはそれぞれ、SiteDeploy.ps1.txt ファイルが含まれています。



2.3.アカウント要件の a)に該当する方は、「\_Tenant」配下の ps1 フォルダを実行します。

a) Retrieve\_Tenant -> SiteRetrieve.ps1 実行 → Deploy\_Tenant -> SiteDeploy.ps1 実行

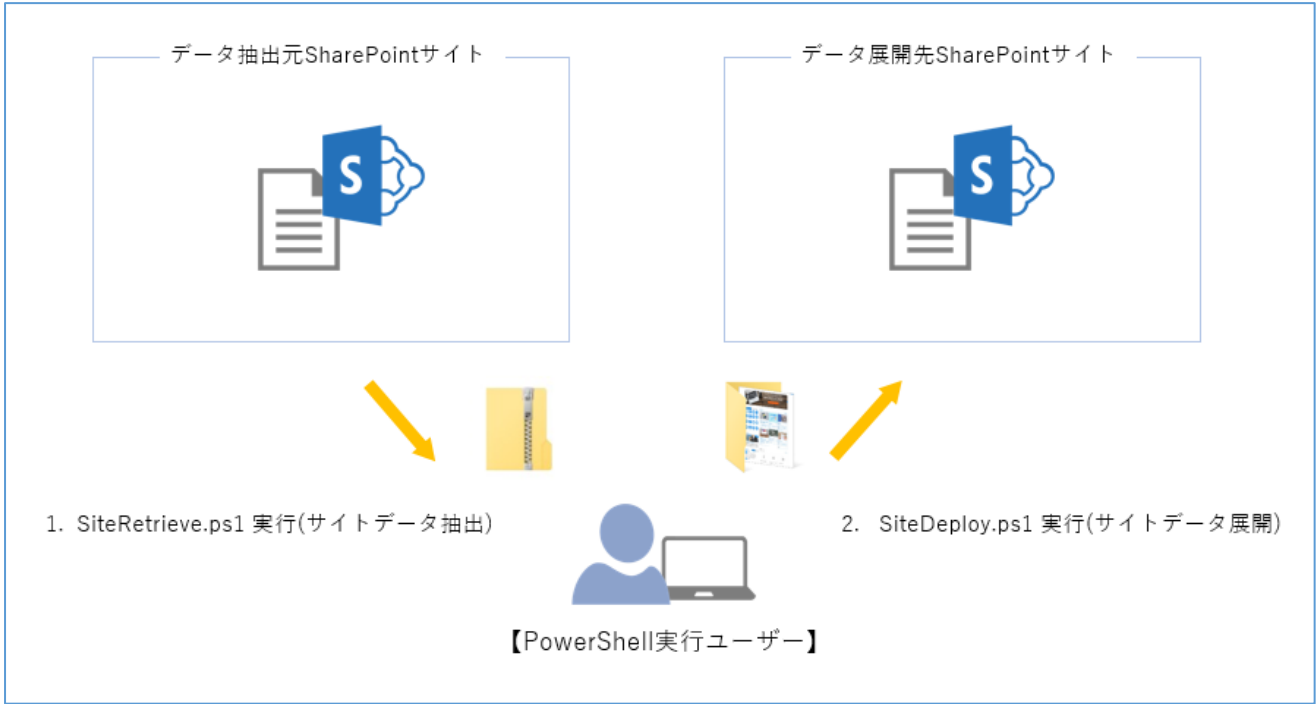
2.3.アカウント要件の b)に該当する方は、「\_SiteCollection」配下の ps1 フォルダを実行します。

b) Retrieve\_SiteCollection->SiteRetrieve.ps1 実行 → Deploy\_SiteCollection-> SiteDeploy.ps1 実行

※実行時は、a) 、 b)異なる ps1 ファイルを実行しないようご注意ください。

#### 4. PowerShell 実行の流れ

PowerShell 実行の流れを下図に示します。



##### 4.1. 処理概要

1. SiteRetrieve.ps1 を実行すると、抽出元サイトのデータを実行ユーザーのローカルフォルダに抽出します。
2. SiteDeploy.ps1 を実行すると、抽出されたデータを新しいサイトまたは既存サイトへ展開します。

##### 4.2. 主な抽出・展開データ

主な抽出・展開データは以下になります。

抽出されるデータ
指定した InSite サイトの Top ページ(Web パーツのレイアウト、サイトロゴ)
指定した InSite サイトのリストおよびドキュメントライブラリのテンプレート
指定した InSite サイトのリストおよびドキュメントライブラリのフォルダまたはアイテム
指定した InSite サイトのサブサイト(※ブログテンプレートで作成されたサブサイトのみ)
指定した InSite サイトのサブサイトのリストおよびドキュメントライブラリのテンプレート
指定した InSite サイトのサブサイトのリストおよびドキュメントライブラリのフォルダまたはアイテム
指定した InSite サイトのアプリカログのテンプレート(※サイトコレクション単位のアプリカログを利用する場合)
指定した InSite サイトのアプリカログ内の sppkg ファイル(※サイトコレクション単位のアプリカログを利用する場合)

## 5. 制限事項

InSite サイトコピーにおける制限事項について説明します。

### 5.1. サイト単位の制限事項

以下に該当するものはコピーすることができません。展開後、手動で新規作成、アップロード、変更を行ってください。

抽出対象外のデータ
アプリ
サブサイト(※ブログテンプレートで作成されたサブサイトはコピーされます。)
サブサイト配下のサブサイト
サイトに設定された権限
サイトコレクションの機能
テーマカラー
画像ライブラリ
スタイルライブラリ
ワークフロー

※上記に該当する場合は、警告でスキップされる場合があります。

### 5.2. リストおよびドキュメントライブラリ単位の制限事項

以下に該当するものはコピーすることができません。展開後、手動で新規作成、アップロード、変更を行ってください。

抽出対象外のデータ
表示名が同じ名称(表示名)のリストおよびドキュメントライブラリ
名称に【 ¥ : / * ? ” < >   】の記号が入ったサイト、リスト、ドキュメントライブラリ
参照列の値
アイテム／ドキュメントに設定された用語セットの値

列・ビューの制限
リストの Title 列名を変更している場合、列名が Title になります。
AllItem ビューの名前を変更していると 2 つ作成されます。(変更された方ビューが既定のビューに設定されます。)
1 リスト内のアイテムが 5000 件オーバーしている場合、抽出・展開できません。
1 ドキュメントライブラリ内のフォルダ、ファイルが 5000 件オーバーしている場合、抽出・展開できません。

### 5.3. アイテム単位の制限事項

承認の状況を設定しているリストおよびドキュメントライブラリのアイテムは全て承認前の状態に戻ります。
リストおよびドキュメントライブラリの列の種類がユーザーまたはグループの列の値にゲストユーザーが指定されているアイテムはコピーすることができません。
イベント 場所列の値に位置情報が正しく入力されていない場合、コピーできません。

### 5.4. サイトのページの制限事項

カスタムスクリプトの設定が「拒否」に設定されている場合、サイトのページをコピーすることができません。
※ カスタムスクリプトの設定を確認する場合は、「7.3 カスタムスクリプトの設定について」をご参照ください。
※ InSite ポータルおよび InSite ヘルプデスクに関連するサイトのページは作成されます。

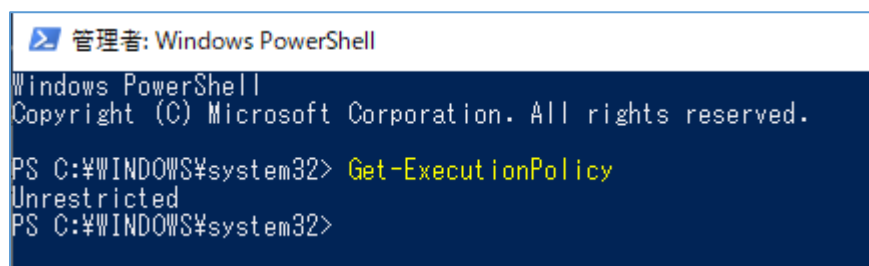


## 6. 実行手順

### 6.1. Windows PowerShell スクリプトの実行ポリシーの変更

1. スタートメニューを開き、「Windows PowerShell」と入力します
2. 表示されたアプリ名を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。
3. 以下を入力し、エンターキーを押下します。

```
Get-ExecutionPolicy
```



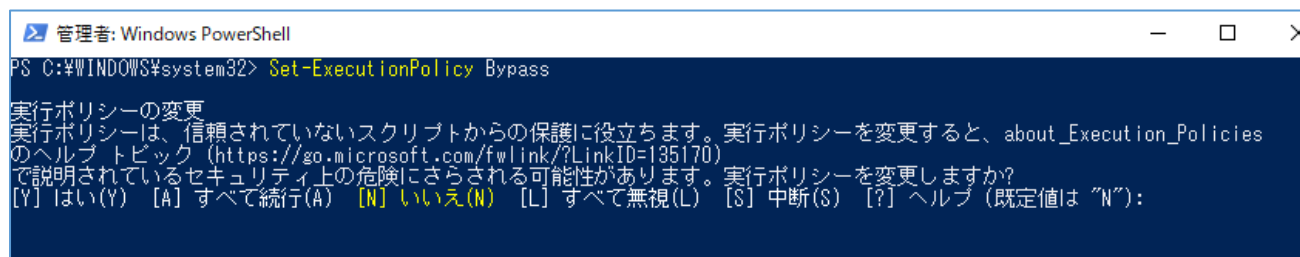
```
管理者: Windows PowerShell
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

PS C:\WINDOWS\system32> Get-ExecutionPolicy
Unrestricted
PS C:\WINDOWS\system32>
```

4. 現在設定されているスクリプト実行ポリシーをメモします。(例: Unrestricted をメモ)
5. 以下を入力し、エンターキーを押下します。

```
Set-ExecutionPolicy Bypass
```

6. 「y」を入力し、エンターキーを押下します。



```
管理者: Windows PowerShell
PS C:\WINDOWS\system32> Set-ExecutionPolicy Bypass

実行ポリシーの変更
実行ポリシーは、信頼されていないスクリプトからの保護に役立ちます。実行ポリシーを変更すると、about_Execution_Policies
のヘルプ トピック (https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=135170)
で説明されているセキュリティ上の危険にさらされる可能性があります。実行ポリシーを変更しますか?
[Y] はい(Y) [A] すべて続行(A) [N] いいえ(N) [L] すべて無視(L) [S] 中断(S) [?] ヘルプ (既定値は "N"):
```

※サイトコピーがすべて完了しましたら、セキュリティポリシーを上記の 4.の手順でメモした値に変更し直してください。

```
Set-ExecutionPolicy <メモした値>
```

## 6.2. モジュールインストール

サイトのデータ抽出および展開に必要なモジュールをインストールします。

### 6.2.1. ファイル準備

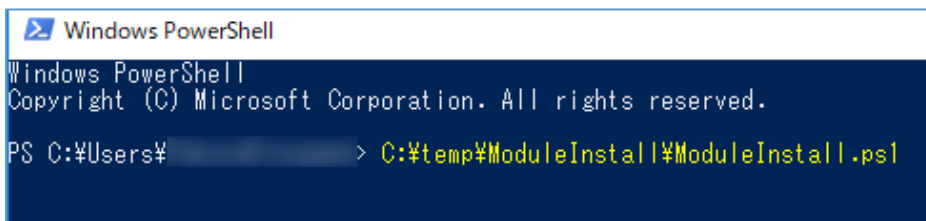
1. 事前準備で用意した「ModuleInstall.zip」ファイルを解凍します。
2. 解凍したファイル「ModuleInstall.ps1.txt」から、ファイル名末尾の「.txt」を削除します。

### 6.2.2. ModuleInstall.ps1 実行

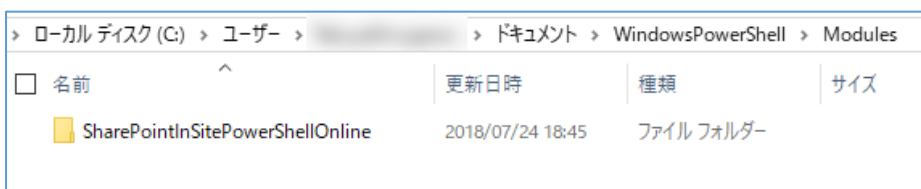
1. スタートメニューから、Windows PowerShell を開きます。



2. 「ModuleInstall.ps1」のパスを指定し、実行します。



3. 「ModuleInstall.ps1」実行後、「SharePointInSitePowerShellOnline」が  
C:\Users\<ユーザー名>\Documents\WindowsPowerShell\Modules の配下に  
インストールされたことを確認します。



※アンインストールする場合は、PowerShell が起動していないことを確認し、手動で「SharePointInSitePowerShellOnline」フォルダの削除を行ってください。

### 6.3. サイトデータ抽出

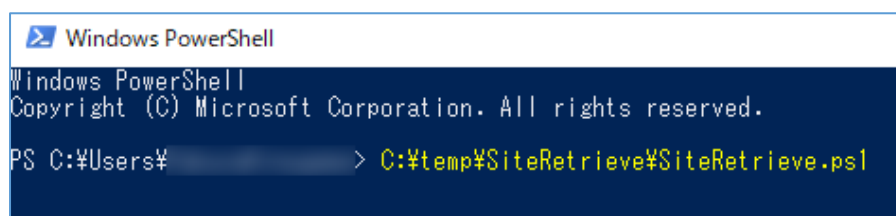
抽出元として入力された InSite サイトより、データを抽出します。

#### 6.3.1. ファイル準備

1. 事前準備で用意した「SiteRetrieve.zip」ファイルを解凍します。
2. 解凍したファイル「SiteRetrieve.ps1.txt」から、ファイル名末尾の「.txt」を削除します。

#### 6.3.2. SiteRetrieve.ps1 実行

1. スタートメニューから、Windows PowerShell を開きます。
2. 「SiteRetrieve.ps1」のパスを指定し、実行します。



```
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

PS C:\Users\> C:\temp\SiteRetrieve\SiteRetrieve.ps1
```

3. 表示されるメッセージに沿って、情報を入力します。

(例)

SiteURL: https://test.sharepoint.com/sites/testRetrieve

AccountName: test@test.onmicrosoft.com

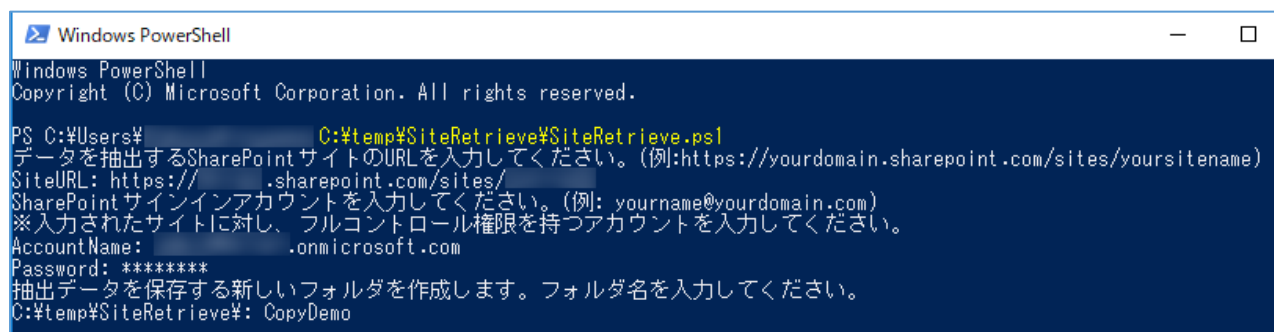
Password: \*\*\*\*\*

4. 抽出データを保存する新規フォルダの名称を入力します。

(例) CopyDemo

※新規フォルダの名称には【 ¥ : / \* ? " < > | 】の記号を使用できません。

5. 「SiteRetrieve.ps1」実行完了後、「SiteRetrieve.ps1」が保存されているフォルダ内に、指定した名称の zip ファイルが作成されたことを確認します。



```
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

PS C:\Users\> C:\temp\SiteRetrieve\SiteRetrieve.ps1
データを抽出するSharePointサイトのURLを入力してください。(例:https://yourdomain.sharepoint.com/sites/yoursitename)
SiteURL: https://.sharepoint.com/sites/
SharePointサインインアカウントを入力してください。(例: yourname@yourdomain.com)
※入力されたサイトに対し、フルコントロール権限を持つアカウントを入力してください。
AccountName: .onmicrosoft.com
Password: *****
抽出データを保存する新しいフォルダを作成します。フォルダ名を入力してください。
C:\temp\SiteRetrieve\> CopyDemo
```

※実行途中でエラーが発生し、処理が中断した場合は、以下をご参照ください。

「7.1 作業実行ログ」「7.2 トラブルシューティング」

## 6.4. サイトデータ展開

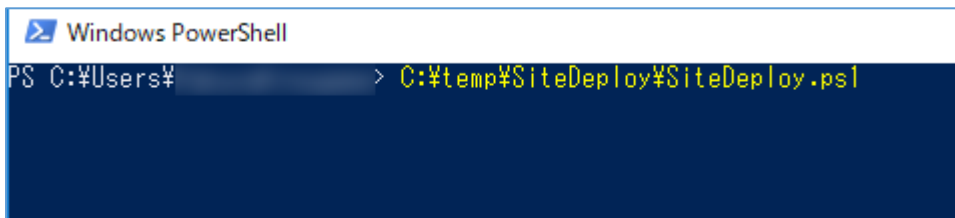
抽出したデータを新規サイト、または既存サイトに展開します。

### 6.4.1. ファイル準備

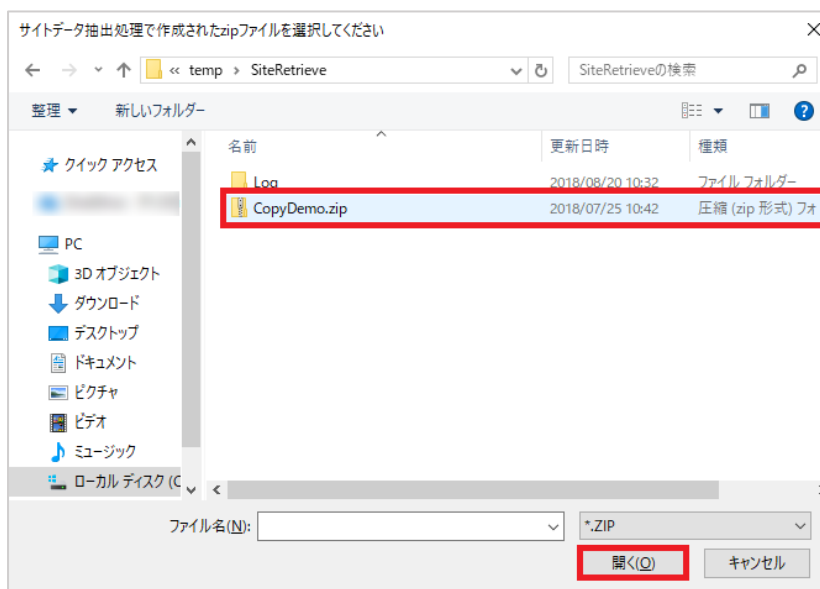
1. 事前準備で用意した「SiteDeploy.zip」ファイルを解凍します。
  2. 解凍したファイル「SiteDeploy.ps1.txt」から、ファイル名末尾の「.txt」を削除します。
  3. 解答したファイル「ApplyTemplate.ps1.txt」から、ファイル名末尾の「.txt」を削除します。
- ※「SiteDeploy.ps1」と「ApplyTemplate.ps1」は必ず同じフォルダ内に保存してください。

### 6.4.2. SiteDeploy.ps1 実行

1. スタートメニューから、Windows PowerShell を開きます。
2. 「SiteDeploy.ps1」のパスを指定し、実行します。



3. サイトデータ抽出処理で作成された zip ファイルを選択し、「開く」を押下します。  
(例) CopyDemo.zip



4. 展開先サイトに新規サイトまたは、既存サイトを選択します。

新規サイトを作成する場合は「Y」、既存サイトに展開する場合は「N」を入力します。

5. 表示されるメッセージに沿って、情報を入力します。※SiteURL にスペースを含めないでください。

(例)

SiteURL: <https://test.sharepoint.com/sites/testDeploy>

AccountName: test@test.onmicrosoft.com

Password: \*\*\*\*\*

```
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

PS C:\Users\%user% > C:\temp\%SiteDeploy%\SiteDeploy.ps1
サイトデータ抽出処理で作成されたzipファイルを選択してください。

<実行確認>
新しいサイトに展開する場合は「新規サイト(Y)」、既存のサイトに展開する場合は、「既存サイト(N)」を押してください。
[Y] 新規サイト(Y) [N] 既存サイト(N) [?] ヘルプ (既定値は "Y"): Y
新規サイトに展開します。
新しく作成するSharePointサイトのURLを入力してください(例:https://yourdomain.sharepoint.com/newyoursite)
SiteURL: https://test.sharepoint.com/sites/
アカウント名を入力してください。(例: yourname@yourdomain.com)
※SharePointの新しいコミュニケーションサイトを作成する権限があるアカウントを入力してください。
AccountName: test.onmicrosoft.com
Password: *****
```

【新規サイトを作成する場合】

表示されるメッセージに沿って、情報を入力します。

(例)

SiteTitle: CopyDemoTitle

Description: CopyDemoDescription

```
作成するサイトのタイトルを入力してください。
SiteTitle: CopyDemoTitle
作成するサイトの説明を入力してください。
Description: CopyDemoDescription
```

6. 下図のように表示されたら、サイト展開完了です。

展開先 URL(緑文字)に閲覧可能なアカウントでアクセスしてください。

※新規サイトを作成した場合は、新規サイトを作成したアカウントでアクセスします。

(「6.3.2SiteRetrieve.ps1 実行」で利用したアカウント)

```
サイト展開処理が完了しました。
展開先URL
https://test.sharepoint.com/sites/
PS C:\Users\%user% >
```

※実行途中でエラーが発生し、処理が中断した場合は、以下をご確認ください。

「7.1 作業実行ログ」「7.2 トラブルシューティング」

## 7. Appendix

### 7.1. 作業実行ログ

サイトデータ抽出およびサイトデータ展開処理の実行時に作成されるログについて説明します。

「SiteRetrieve.ps1」および「SiteDeploy.ps1」を実行すると、同フォルダ内に Log フォルダが作成されます。

Log フォルダには、実行ログとエラーログ、2 種類のログファイルが出力されます。

ログファイルは、メモ帳等のエディタツールで表示できます。

出力されるログは、以下 3 つに分類されます。

1	Info:	実行状況を表します。
2	Warning:	プログラム実行は中断されませんが、エラーが発生した場合に出力されます。
3	Error:	エラーが発生したことをお知らせします。 エラーが発生すると、その時点で処理中断されます。メッセージの指示内容を確認し、再度実行してください。

```
2018/01/01 14:13:54.557 Info : <処理状況>↵
2018/01/01 14:13:56.557 Warning : <処理が中断されないエラー発生>↵
2018/01/01 14:13:58.557 Error : <処理が中断されるエラー発生>↵
```

#### 7.1.1. 実行ログについて

実行ログでは、プログラム実行時に入力したサイト URL や、抽出に作成したフォルダ名、展開するデータが保存されているフォルダのパス等を確認できます。

また、エラーが発生した場合は、実行ログを参照することで、中断された処理を確認できます。

#### 7.1.2. エラーログについて

エラーログでは、上記の 3 分類から「Error:」と「Warning:」に分類されたものが記録されます。

プログラムの実行が中断された場合は、分類「Error:」のエラーメッセージを確認できます。

リストアイテムやフォルダ、ファイルのコピー失敗した場合は、分類「Warning:」のエラーメッセージを確認できます。

### 7.1.3. 分類「Warning:」について

以下の処理実行時にエラーが発生した場合、プログラム実行は中断されずにスキップされます。

1. 「SiteRetrieve.ps1」実行時のリストアイテム、フォルダ、ファイルダウンロード処理
2. 「SiteDeploy.ps1」実行時のリストアイテム、フォルダ、ファイルアップロード処理

エラーログには、以下のように出力されます。

(出力例 2)

```
①リスト ②イベント ③追加失敗アイテム一覧 (全8件 エラー 2件)↵
④読込ファイル: C:\temp\SiteDeploy\抽出時に作成したフォルダ名\Lists\Events-イベント.xml↵
⑤2018/08/13 15:28:20.845 ⑥Warning: ⑦読込元ItemID:1 Title: <アイテム名>↵
⑧ErrorMessage: <エラー情報>↵
2018/08/13 15:28:21.472 Warning: 読込元ItemID:2 Title: <アイテム名>↵
ErrorMessage : <エラー情報>↵
```

※番号(1~8)は出力例として記載しております。実際のログには、番号は記載されません。

1. リストまたはドキュメントライブラリ
2. リストまたはドキュメントライブラリの表示名
3. リストまたはドキュメントライブラリ内の全アイテム数と発生したエラー件数
4. 展開時に読み込みした xml ファイルパス
5. エラー発生日時
6. 分類
7. エラーが発生したアイテムの ID とタイトル
8. エラー情報

## 7.2. トラブルシューティング

本章では、エラー発生時に推奨する対処方法について説明します。

表の左カラムは、出力されるログの分類、中央カラムはエラーログファイル内の ErrorMessage: を表記し、右カラムでは、推奨する対処方法を表記しております。

中央カラムに該当するエラーメッセージが出力された場合は、右カラムをご確認ください。

※サイトデータ抽出、展開がエラーになった場合、モジュールが古い可能性があります。一度モジュールをアンインストール後にお試しください。

分類	エラー	推奨する対処方法
モジュールインストール(ModuleInstall.ps1)		
Error:	既にインストールされているため、実行できません。	一度、アンインストールを行ってください。アンインストールする場合は、PowerShell が起動していないことを確認し、手動で「C:\¥Users¥<ユーザー名>\¥Documents¥WindowsPowerShell¥Module」配下の「SharePointInSitePowerShellOnline」フォルダの削除を行ってください。
サイトデータ抽出(SiteRetrieve.ps1)		
Error:	無効な URI: URI の形式を決定できませんでした。	抽出元サイトの URL を別の有効な URL に変更してください。
Error:	リモート サーバーがエラーを返しました: (403) 使用不可能	アカウント入力情報に誤りがあります。入力情報をご確認ください。
Error:	The sign-in name or password does not match one in the Microsoft account system.	アカウント入力情報に誤りがあります。入力情報をご確認ください。
Error:	リモート サーバーがエラーを返しました: (401) 許可されていません	入力されたアカウントは抽出元サイトに対して、閲覧(アイテムダウンロード可能)以上の権限が付与されていません。サイトの権限をご確認ください。
Error:	リモート サーバーがエラーを返しました: (404) 見つかりません	入力された URL のサイトが見つかりません。URL をご確認ください。
Error:	接続が切断されました: 受信時に予期しないエラーが発生しました。	システムエラーが発生しました。時間を置いてから再実行してください。
サイトデータ展開(SiteDeploy.ps1)		
Error:	リモート サーバーがエラーを返しました: (403) 使用不可能	アカウント入力情報に誤りがあります。入力情報をご確認ください。
Error:	The sign-in name or password does not match one in the Microsoft account system.	アカウント入力情報に誤りがあります。入力情報をご確認ください。



分類	エラー	推奨する対処方法
Error:	無効な URI: URI の形式を決定できませんでした。	URL 入力形式をお確かめの上、展開先サイトの URL を別の有効な URL に指定してください。 ※入力形式に誤りがない場合は、同じ URL のサイトがごみ箱にある可能性があります。別の URL を指定するか、ごみ箱から対象サイトを削除してください。
Error:	リモート サーバーがエラーを返しました: (401) 許可されていません	入力されたアカウントは展開先サイトに対して、アクセス権限が付与されておりません。サイトの権限をご確認ください。 ※既存サイトに展開する場合、編集以上の権限が必要です。
Error:	指定したタイトルのリスト、アンケート、ディスカッション掲示板、またはドキュメント ライブラリは、既にこの Web サイトにあります。他のタイトルを選択してください。	抽出元サイトのリストまたはドキュメントライブラリに同じ表示名のものが存在する可能性があります。表示名を違うものに設定し、サイト抽出から再度実行してください。 新規サイト展開時に発生した場合は、新規サイトの URL を既存のサイトの URL として、再度実行してください。
Error:	接続が切断されました: 受信時に予期しないエラーが発生しました。	システムエラーが発生しました。時間を置いてから再実行してください。
Error:	アクセスが拒否されました。この操作の実行権限またはこのリソースのアクセス権がありません。	PowerShell 実行者のアカウントに展開するサイトのフルコントロール権限を付与し、再度実行してください。
Warning:	アクセスが拒否されました。この操作の実行権限またはこのリソースのアクセス権がありません。	リストのアイテム、フォルダまたはファイルへアクセスする権限をお確かめの上、再度実行してください。 ※サイトのページへのファイル追加時に本エラーが発生する場合は、「7.3.1 カスタムスクリプト設定の確認手順」より、アクセス許可レベルを確認してください。
Warning:	位置情報が地理的なポイントを表していません。値の形式が正しくないか、値が有効範囲にありません。	イベントリスト、場所列の値に、正しい地理的なポイントが設定されておりません。個別にアイテムを追加、または抽出元サイトの該当データを修正後、サイトデータの抽出から再度実行してください。
Warning:	指定されたユーザー○○@○○.○○が見つかりませんでした。	ユーザーまたはグループ列に組織外ユーザーが指定されたアイテムは展開できません。個別にアイテムを追加してください。

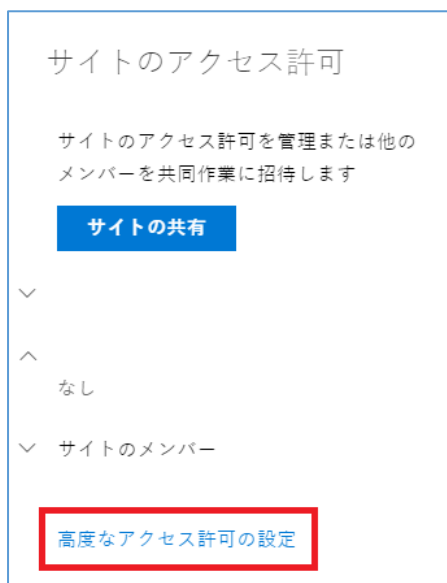
### 7.3. カスタムスクリプトの設定について

サイトのページを展開にするには、カスタムスクリプトの許可設定が必要です。

#### 7.3.1. カスタムスクリプト設定の確認手順

カスタムスクリプト設定が許可されているかを確認します。

1. カスタムスクリプト設定を確認したいサイトの Top ページを開きます。
2. 画面右上の歯車マークをクリックし、「サイトのアクセス許可」を選択します。
3. 「高度なアクセス許可の設定」を選択します。



4. リボンメニュー「権限」-「権限の確認」を選択します。



5. サイトデータ展開を実行するユーザーの名前またはメールアドレスを入力し、「今すぐ確認する」を選択します。

サイトのページ: 権限の確認

権限の確認  
ユーザーまたはグループの権限を確認するには、名前か電子メール アドレスを入力してください。

ユーザー/グループ:

今すぐ確認する 閉じる

6. 下図の赤字部に表示される情報を確認します。

※「ページの追加とカスタマイズ」項目が「拒否」の場合は、サイトのページを展開できません。

サイトのページ: 権限の確認

権限の確認  
ユーザーまたはグループの権限を確認するには、名前か電子メール アドレスを入力してください。

ユーザー/グループ:

今すぐ確認する 閉じる

DSISP1Admin に割り当てられたアクセス許可レベル (i:0#.f|membership )

フル コントロール "Communication site 所有者" グループから付与されました。

以下の要因も (i:0#.f|membership ) のアクセス レベルに影響を与えます

拒否	ページの追加とカスタマイズ	HTML ページか Web パーツ ページを追加、変更、または削除し、Microsoft SharePoint Foundation 互換のエディターを使用して Web サイトを編集します。
----	---------------	---

### 7.3.2. カスタムスクリプト設定の変更手順

カスタムスクリプト設定の変更にあたり、以下 2 点の要件を満たしている必要があります。

- SharePoint Online 管理者の役割が割り当てられているユーザーアカウント
- 「6.2 モジュールインストール」が完了していること

※カスタムスクリプトを許可するセキュリティ上の考慮事項については、以下 Microsoft 公式サイトをご確認ください。

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/sharepoint/security-considerations-of-allowing-custom-script>

1. スタートメニューから、Windows PowerShell を開きます。
2. 以下を入力し、エンターキーを押下します。

```
Connect-InSiteOnline https://<お客様のテナント名>-admin.sharepoint.com
$context = Get-InSiteContext
```

(例) Connect-InSiteOnline https://discoveries-admin.sharepoint.com

3. サインイン画面が表示されるので、SharePoint Online 管理者アカウントを入力し、サインインします。
4. SharePoint 管理センターに接続されます。
5. 以下を入力し、エンターキーを押下します。

※<設定を変更するサイト名>には、この時点で存在するサイト名を入力してください。

```
$site = Get-InSiteTenantSite https://<お客様のテナント名>.sharepoint.com/sites/<設定を変更するサイト名> -Detailed
```

6. サイトに許可設定をし、更新します。以下を入力し、エンターキーを押下します。  
※三行で入力します。

```
$site.DenyAddAndCustomizePages=[Microsoft.Online.SharePoint.TenantAdministration.DenyAddAndCustomizePagesStatus]::Disabled
$site.Update()
$context.ExecuteQuery()
```

7. 「7.3.1 カスタムスクリプト設定の確認手順」を実施し、変更されたことを確認します。  
※「カスタムスクリプト」についてのご不明点は、マイクロソフト社サポートにお問い合わせください。

以上

## 補足

本書は 2019 年 08 月 21 日時点の情報です。バージョンアップや機能強化などにより、実際にご利用の製品とは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。

### 著作権

このドキュメントに記載されている情報（URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む）は、将来予告なしに変更することがあります。別途記載されていない場合、このソフトウェアおよび関連するドキュメントで使用している会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のものです。実在する名称とは一切関係ありません。お客様ご自身の責任において、適用されるすべての著作権関連法規に従ったご使用をお願いします。ディスカバリーズは、このドキュメントに記載されている内容に関し、特許、特許申請、商標、著作権、またはその他の無体財産権を有する場合があります。別途ディスカバリーズのライセンス契約上に明示の規定のない限り、このドキュメントはこれらの特許、商標、著作権、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

©2018 Discoveries Inc. All rights reserved.

Discoveries InSite および IntelliReport は、ディスカバリーズ株式会社の商標です。Microsoft、Azure、Office365、SharePoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。